工場敷地の特色を活かした緑地の保全

FUĴĨTSU

活動場所

富士通株式会社 沼津工場



活動目的

愛鷹山中の豊かな自然環境を活かし、環境保全の大切さを従業員や近隣の方に伝えながらも、自然を楽しんでいただき、未来の 子供達に豊かな社会を継承していくために、緑地保全に取り組んでいます。

活動内容

敷地面積約53haのうち約43haに及ぶ緑地を「管理エリア」、「自然エリア」の2つの エリアに区分し、将来を見据えた長期的な目標を定め、継続的に維持管理しています。

「管理エリア」には従業員が散策するための遊歩道を整備し、そこには倒木や間伐材から 作ったチップを敷き詰めています。昼休みなどでランニング・ウォーキング等の利用を 後押し、健康増進の一環としての活用をはかっております。

また、豊かな緑地を活用した茶摘み・健康ウォーキング等のイベントを季節ごとに実施し、 地域の皆様や従業員・ご家族に楽しんでいただいております。

一方、「自然エリア」は日本古来の生物多様性を維持するために、自然再生能力を活かし、 必要最低限の管理に留めています。

この緑地を地域へ開放し、「従業員」・「顧客」・「地域社会」に対して憩いの場として 提供し続けるために継続的に改善し、地域を代表する緑地になれるよう計画的に進めて おります。







PRしたいポイント

広大な敷地内の豊富な自然の緑を好ましく確保し、周辺との調和をはかり、全体として自然のふところに抱かれた公園のような 地域景観を形成するようにしています。なかでも、生物多様性の観点から、管理エリアの里山(いこいの里)を中心に、在来種 のミナミメダカの放流やカワラナデシコを育成し、外来種であるセイタカアワダチソウやオオキンケイギクなどの駆除も実施し ながら、日本古来の環境に近づけるよう努めております。

活動効果、今後の展開等

○2018年に「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)」から「そだてる緑」の評価において「緑の殿堂」として認定されました。
○緑地の情報を社内SNSサイトで発信し、自然の豊かさを広く感じとっていただいています。
○更に多くの従業員および地域の方に安全安心に活用いただき、健康増進の促進および自然環境への理解を深めていただくため、インフラも含め散策コースの整備を検討しております。

富士通株式会社

沼津工場

https://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/22.html